

(別記様式第8号)

BELSに係る変更評価申請書
(第一面)

年 月 日

株式会社 新潟建築確認検査機構 殿

申請者の住所又は
主たる事務所の所在地

申請者の氏名又は名称 印

下記の建築物について、建築物省エネルギー性能表示制度に基づき、BELSに係る変更評価の申請をします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

【計画を変更する建築物の直前の評価】

1. BELS評価書交付番号 第 号
2. BELS評価書交付年月日 年 月 日
3. BELS評価書交付者
4. 変更の概要

※受付欄	※料金欄
年 月 日	
第 号	
申請受理者印	

<評価機関からのお願い>

BELSに係る評価申請の内容について、個人や個別の建築物が特定されない統計情報として、国土交通省に提供することがございますので、あらかじめご了承のほどお願い申し上げます。また、BELS評価書取得物件は、申請書・評価書に記載されている個人や個別の建築物が特定されない情報、および掲載承諾書（別記参考様式2号）の提出にて、公開を選択した項目について、（一社）住宅性能評価・表示協会ホームページにて、BELS事例紹介として評価結果等の公表をさせていただきます。

(注意)

1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。
2. 申請者（申請者が法人である場合にあっては、その代表者）の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。

(第三面)

建築物に関する事項

【1. 建築物の所在地】

【2. 該当する地域の区分】 () 地域

【3. 建築物の用途】 一戸建ての住宅 共同住宅等
 非住宅建築物 複合建築物

【4. 建築物の名称】

【5. 建築物の階数】 (地上) 階 (地下) 階

【6. 建築物の構造】 造 一部 造

【7. 建築物の延べ面積】 m²

【8. 建築物の新築竣工時期 (計画中の場合は予定時期)】 ()

【9. 申請の対象とする範囲】

- 一戸建ての住宅 (→申請書第四面作成)
- 共同住宅等の住棟 (→申請書第四面作成)
- 建築物全体 (非住宅建築物の全体・複合建築物の全体の場合) (→申請書第四面作成)
- 住戸 (共同住宅等・複合建築物の住戸部分の場合)
(建築物全体 () 戸) のうち評価申請対象住戸 ()
(→申請書第六面作成)
- フロアによる () 階 (→申請書第五面作成)
- テナントによる () (→申請書第五面作成)
- その他部分による () (→申請書第四面または第五面作成)

【10. 申請対象部分の改修の竣工時期】 ()

(注意)

第二面関係

1. 【3. 建築主等】既存建築物の場合、所有者とします。
2. 【4. 設計者等】既存建築物の場合、申請に係る設計内容等に責任を負うことができる者とします。また、資格欄については、資格を持っていない場合は記入不要となります。
3. 【5. 工事施工者】既存建築物の場合で、工事を行わない場合は、記載不要となります。

第三面関係

4. ① この様式において使用する用語は、特別の定めのある場合を除くほか、建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成28年経済産業省令・国土交通省令第1号）において使用する用語の例によります。
② この様式において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ次のとおりとします。
(1)一戸建ての住宅 一棟の建築物からなる一戸の住宅
(2)共同住宅等 共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅
5. 【4. 建築物の名称】 建築物の部分で申請する場合以外は、評価書に表示される名称となります。
6. 【9. 申請の対象とする範囲】 申請範囲により、該当するチェックボックス全てにチェックマークを入れてください。こちらのチェックの内容に応じて、発行される評価書の部数が確認できるようにしてください。また、複数の評価書が発行される場合は、それぞれ第四面から第六面を申請に係る単位ごとに作成する必要があります。
7. 【9. 申請の対象とする範囲】 「フロアによる」「テナントによる」「その他部分による」の括弧については、それぞれが申請の単位において二以上である場合等記入できない場合は、行を追加する等による記載を可能とします。
8. 【9. 申請の対象とする範囲】 「その他部分による」とは、建築物の部分で、「フロア」や「テナントによる」場合以外に該当する場合があります。例えば「複合建築物の非住宅部分全体」は「その他部分による」に該当します。
9. 【10. 申請対象部分の改修の竣工時期】 の記載については、申請対象部分を改修する場合に限りです。

建築物のエネルギー消費性能

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

(1) 住宅部分

外皮性能について (性能基準・仕様基準いずれか)

性能基準 (適合 ・ 不適合)

・ U_A 値 設計値 () $W/(m^2 \cdot K)$ 基準値 () $W/(m^2 \cdot K)$

U_A 値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)

・ η_{AC} 値 設計値 () 基準値 ()

η_{AC} 値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)

※評価書には U_A 値・ η_{AC} 値どちらか一方の記載となります。また、基準値がない場合には記載ができません。

仕様基準 (適合)

(2) 非住宅部分基準 (適合 ・ 不適合)

・年間熱負荷係数 (モデル建物法の場合記載不要)

設計値 () $MJ/(m^2 \cdot \text{年})$ 基準値 () $MJ/(m^2 \cdot \text{年})$

・BPI値 ()

BPI値の記載 (希望する 希望しない)

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

(1) 一戸建ての住宅、共同住宅等及び複合建築物の住戸部分 (性能基準・仕様基準いずれか)

性能基準

・計算対象床面積 () m^2

・BEI値 ()

・設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () $GJ/\text{年}$

・基準一次エネルギー消費量 (その他除く) () $GJ/\text{年}$

仕様基準 (外皮性能が外皮基準に適合している場合のみ選択可能) (適合)

(2) 非住宅部分及び共同住宅等の共用部分

通常の計算法 (標準入力法・主要室入力法)

・計算対象床面積 () m^2

・BEI値 ()

・設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () $GJ/\text{年}$

・基準一次エネルギー消費量 (その他除く) () $GJ/\text{年}$

モデル建物法 (非住宅部分のみ)

・BEI値 ()

(3) 複合建築物全体または共同住宅等全体 (1) + (2)

・基準一次エネルギー消費量への適否 (適合 ・ 不適合)

・計算対象床面積の合計 () m^2

・BEI値 ()

・※設計一次エネルギー消費量の合計 (その他除く) () $GJ/\text{年}$

・※基準一次エネルギー消費量の合計 (その他除く) () $GJ/\text{年}$

(※共同住宅等で (1) で性能基準、(2) で通常の計算法を用いている場合のみ)

(4) ZEBまたは住宅の「ゼロエネ相当」に関する事項（選択をした場合）

再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量（その他除く）

（ ） GJ/年

再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量（その他除く）の基準一次エネルギー消費量（その他除く）からの削減率

（ ） %削減

再生可能エネルギーを含めた設計一次エネルギー消費量（その他除く）

（ ） GJ/年

再生可能エネルギーを含めた設計一次エネルギー消費量（その他除く）の基準一次エネルギー消費量（その他除く）からの削減率

（ ） %削減

(注意)

1. 第四面別紙は、第四面の評価に必要な建築物のエネルギー消費性能を記載してください。
2. 「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」では、「外皮基準適合の場合におけるBPI、 U_A 値または η_{AC} 値の表示」を希望することの有無にかかわらず、BPI、 U_A 値または η_{AC} 値を記載してください。希望する場合、評価書に数値が記載されることとなります。また、希望しない場合は「適合」または「-」の記載となります。
3. 「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」「ゼロエネ相当」に関する事項を「記載する」とした場合、外皮基準適合の場合における U_A 値記載は必須となります。
4. 「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」共同住宅等の住棟で申請する場合等においては、 U_A 値および η_{AC} 値を記載する場合は、全住戸の平均値を記載することとなります。
5. 「2. 一次エネルギー消費量に関する事項」「(3) 複合建築物全体または共同住宅等全体(1) + (2)」においては、(1)(2)の記載も必要となります。
6. この面に記載する数値の単位については以下のとおりとします。
 - ・ U_A の値 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・ η_{AC} の値 小数点第一位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・年間熱負荷係数 小数点第一位以下を切り上げた数値を記載してください。
 - ・BPI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・BEI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・一次エネルギー消費量の合計 小数点以下一位未満の端数があるときは、これを切り上げた数値を記載してください。

(第五面)

申請対象部分に関する事項（非住宅に関する部分）

【1. 申請する非住宅の一部の名称】

【2. 申請する非住宅の一部における用途】

非住宅（基準省令第8条第1号イの各用途）

- 事務所等 ホテル等 病院等 百貨店等
 学校等 飲食店等 集会所等 工場等
-

【3. 申請する非住宅の一部が存する階】

【4. 申請部分の計算対象面積】

【5. 評価方法（一次エネルギー消費量の計算に用いた方法）】

- 標準入力法 主要室入力法 モデル建物法
-

【6. 改修前のBEIの値】

- 記載なし 記載する （改修前： ）
-

【7. 参考情報】

- 記載なし
 参考情報を記載した別紙による 第四面の参考情報と同じ内容とする
-

(注意)

- この面は、複数申請等に係る非住宅に関する事項がある場合に必要部数作成してください。
- 【1. 申請する非住宅の一部の名称】 評価書に表示される名称となります。フロアやテナント毎などの部分で評価を実施した場合は、建築物の一部の評価である旨が分かるようにしてください。
- 【2. 申請する非住宅の一部における用途】 用途が複数存する場合は、当該用途の全て選択してください。
- 【6. 改修前のBEIの値】 を記載する場合は、実績値の評価はできません。
- 【7. 参考情報】 評価書の参考情報に記載を希望する省エネルギー性能関連情報や災害対策関連情報がある場合は別紙に記載してください。

(第五面 別紙)

非住宅の部分のエネルギー消費性能

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

- ・非住宅部分基準 (適合 ・ 不適合)
- ・年間熱負荷係数 (モデル建物法の場合記載不要)
設計値 () MJ/(㎡・年) 基準値 () MJ/(㎡・年)
- ・BPI値 ()
BPIの値の記載 (希望する 希望しない)

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

- 通常の計算法 (標準入力法・主要室入力法)
 - ・BEI値 ()
 - ・設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年
 - ・基準一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年
- モデル建物法
 - ・BEI値 ()

(注意)

1. 第五面別紙は、第五面の評価に必要な建築物のエネルギー消費性能を記載してください。
2. 「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」では、「外皮基準適合の場合におけるBPIの値の表示」を希望することの有無にかかわらず、B P I の値を記載してください。希望する場合、評価書に数値が記載されることとなります。また、希望しない場合は「適合」または「-」の記載となります。
3. この面に記載する数値の単位については以下のとおりとします。
 - ・年間熱負荷係数 小数点第一位以下を切り上げた数値を記載してください。
 - ・B P I 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・B E I 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・一次エネルギー消費量の合計 小数点以下一位未満の端数があるときは、これを切り上げた数値を記載してください。

(第六面)

申請対象部分に関する事項 (住戸に関する事項)

【1. 申請する住戸の番号】

【2. 申請する住宅の存する階】

【3. 申請部分の計算対象面積】

【4. 評価手法 (一次エネルギー消費量の計算に用いた方法)】

性能基準 仕様基準

【5. 改修前のBEIの値】

記載なし 記載する (改修前:)

【6. 参考情報】

記載なし

参考情報を記載した別紙による 第四面の参考情報と同じ内容とする

(注意)

1. この面は、複数申請等に係る住戸に関する事項がある場合に必要部数作成してください。
2. 【1. 申請する住戸の番号】 第三面の【4. 建築物の名称】に記載されている名称に、こちらの住戸の番号が記載されたものが、評価書に表示される名称となります。
3. 【5. 改修前のBEIの値】を記載する場合は、実績値の評価はできません。
4. 【6. 参考情報】評価書の参考情報に記載を希望する省エネルギー性能関連情報や災害対策関連情報がある場合は別紙に記載してください。

住宅の部分のエネルギー消費性能

1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項

外皮性能について (性能基準・仕様基準いずれか)

性能基準 (適合 ・ 不適合)

・ U_A 値 設計値 () $W/(m^2 \cdot K)$ 基準値 () $W/(m^2 \cdot K)$

U_A 値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)

・ η_{AC} 値 設計値 () 基準値 ()

η_{AC} 値の記載 (※ 希望する ※ 希望しない)

※評価書には U_A 値・ η_{AC} 値どちらか一方の記載となります。また、基準値がない場合には記載できません。

仕様基準 (適合)

2. 一次エネルギー消費量に関する事項

性能基準

・ BEI 値 ()

・ 設計一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年

・ 基準一次エネルギー消費量 (その他除く) () GJ/年

仕様基準 (外皮性能が外皮基準に適合している場合のみ選択可能) (適合)

(注意)

1. 第六面別紙は、第六面の評価に必要な建築物のエネルギー消費性能を記載してください。
2. 「1. 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項」では、「外皮基準適合の場合における U_A 値および η_{AC} 値の表示」を希望する場合は、 U_A 値および η_{AC} の値を記載してください。その場合、評価書に数値記載されることとなります。また、希望しない場合は「適合」または「-」の記載となります。
3. この面に記載する数値の単位については以下のとおりとします。
 - ・ U_A の値 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・ η_{AC} の値 小数点第一位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・ BEI 小数点第二位未満を切り上げた数値を記載してください。
 - ・ 一次エネルギー消費量の合計 小数点以下一位未満の端数があるときは、これを切り上げた数値を記載してください。